

第55回公益社団法人
日本口腔インプラント学会学術大会

Japanes Society of Oral Implantology since 1972

ランチョンセミナー6

骨基質配向性は 強い抗菌性をもっていた!

The orientation of bone matrix had strong antimicrobial properties!

日
時

10.25²⁰²⁵
[SAT]
12:30 - 13:20

会
場

第8会場
マリンメッセ福岡B館2階 会議室2

※整理券制となります。専用発券システムより発券をお願いいたします。

座
長

丸川 恵理子 先生

東京科学大学大学院医歯学総合研究科



演
者

澤瀬 隆 先生

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科



骨基質配向性は強い抗菌性をもっていた！

The orientation of bone matrix had strong antimicrobial properties!

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

澤瀬 隆



インプラント周囲炎は、頻度が高くかつ難治性であることから、口腔インプラント治療における最大の併発症のひとつといっても過言ではない。さまざまな要因から辺縁骨吸収を生じると、インプラント体粗面が骨組織から露出し、バイオフィルムの形成を助長し、炎症が進行する。これまで研究レベルでさまざまな抗菌性表面処理が試みられたが、実用化には至っていない。2023年大阪大学の中野研究室で、溝構造を付与した骨配向化デバイスが、培養環境下で骨基質の配向性を促進し、さらに細菌の付着

を抑制することが実証された。我々のこれまでの研究においても、バトレススレッド形状が、荷重ならびにスレッド形状依存性に骨配向性を示すことを明らかにしており、さらにインプラント周囲炎モデルラットにおいて、骨配向性はインプラント近傍での抗菌ペプチドの発現を有意に促すことが示された。今回のランチョンセミナーでは、前臨床レベルではあるが、これまでの研究の紹介とともに期待される臨床効果についてお話ししたい。